



会津大学 後援会だより

第 30 号

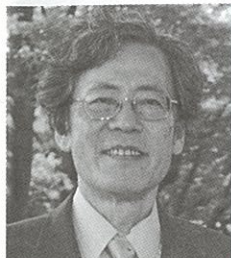
発行：会津大学後援会（事務局 学生部学生課）

発行日：平成 25 年 8 月 10 日

住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電話：0242-37-2515 (FAX0242-37-2526)

URL：http://www.u-aizu.ac.jp



学長あいさつ

会津大学長

角 山 茂 章

本学は今年度で開学 20 周年を無事迎えることができました。これも後援会のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。今年度に入り、早速同窓会総会が新宿で盛大に開かれ、卒業生は初代学長國井先生から懐かしい國井節を聞き、学生の時の思い出に浸ったことと思います。また、40 歳近くになった大勢の卒業生が一堂に集まり、企業や大学で活躍している様子を聞くことができ、私にとっても感慨深い会でした。

丁度 1 年前の本紙でのご挨拶では、本学の学生の大活躍の様子をご報告しました。昨年 5 月のモスクワでの本学学生を代表するチームが国際フォーラム「Positive Hack Days」で上位入賞したのが代表的な報告でした。今年度に入っても素晴らしい報告が来ています。JAXA と NASA が開催した ISAC 東京大会において、社会人のチームが多い中で、本学学生チームは月旅行をコンピューター上で楽しめるソフトを提案しました。世界大会へは出場できなかったものの、国内では上位に入り表彰されました。

さて、今年の就職状況ですが、5 月末の内定率は 24.5% と良いスタートとなり、その後も順調に推移しています。

大学の現状は良い方向に進んでいますが、この様な時に日本では「勝って兜の緒を締めよ」と言います。一方、学生諸君には、フィレンツェ共和国の外交官であったマキャベリの「変化なしの自然はありえないと同様、民族の運命にも静止と言うことはありえない」という言葉を伝えたいと思います。小国であるフィレンツェがその「花の都」の名のように大きく花開いたのは、経済力と知力のたまものでした。「経済力と知力が国力」と言う点は、日本に通じます。これまで日本は海外に常に学ぶことで発展を遂げましたが、近年はその上に安堵し、静止してしまっています。

その意味では、学生諸君には数週間の短期留学を積極的に進めたいと思います。提携大学である米国ローズハルマン工科大学へ留学した多くの学生の英語力は、数週間の短期留学にもかかわらず、対面式で英語力を正確に評価するテストで向上していることが確認されています。これは単に語学だけではなく、全米で最高レベルの学生と交流することにより、多くのことを学んだ成果の表れだと思います。

常に学生が向上心を持って生き、社会に大きく貢献する人材になるよう、後援会の方々からも変わらぬご指導を賜れば幸いです。



後援会会長 あいさつ

会津大学後援会会長

橋 本 修 一

会津大学は平成 5 年に日本初のコンピュータ理工学部として開学し、今年で 20 周年の節目を迎える事が出来ました。人間でいえば成人式であり、このような記念すべき年に後援会会長を仰せつかることになり、大変光栄に思います。

会津の地は、NHK 大河ドラマ「八重の桜」の放映で、以前にも増して全国的に有名になりました。このような歴史や文化の残る素晴らしい環境の下で勉学に励み、国際的な教育を受ける事が出来ることをうれし

く思います。

後援会では、学生生活を支援するため、TOEIC テストの支援、就職活動交通費・宿泊費補助、ボランティア活動費補助、朝食定期券の補助、クラス活動補助、学園祭実行委員会への助成、海外研修支援事業等、さらなるキャリアアップを目指していただきたく様々な事業を実施しております。

会津大学開学 20 周年にあたり、10 月には記念式典や記念講演会等、多数の行事が決定しております。是非ご参加いただきたく思います。

高い就職率を維持できているのは学長はじめ素晴らしい教職員、そして整った設備のもとで勉学に励めるからだと思っています。後援会としても日本のグローバル IT の拠点として世界に向けて邁進できる大学にしたいと思っていますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力、ご指導宜しくお願い申し上げます。

平成25年度会津大学後援会活動について

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しております。

平成 24 年度決算及び平成 25 年度事業計画・予算につきましては、4 月 2 日に開催しました平成 25 年度後援会総会において下記のとおり承認されました。

〈平成24年度会津大学後援会活動について〉 (単位:円)

	科 目	決算額
収 入	会 費	12,800,000
	雑収入	1,084
	バス利用料	243,000
	繰越金	3,769,690
	収入計	16,813,774
支 出	会議費	104,180
	事務費	512,970
	事業費	12,880,743
	学生課外活動助成費	7,000,000
	厚生及び進路対策費	5,260,493
	研修等助成事業費	239,250
	スキルアップ推奨事業費	381,000
	記念事業積立金(次年度繰越)	500,000
	予備費	0
	支出計	13,997,893
	時期繰越	2,815,881

〈平成25年度会津大学後援会役員〉

役 職	氏 名
名 誉 会 長	角 山 茂 章 (会津大学長)
会 長	橋 本 修 一
副 会 長	長谷川 賢 治
副 会 長	上 野 善 弘
監 事	伊 藤 俊 也
監 事	三 浦 和 紀
委 員	遠 藤 久 男
〃	菅 智 子
〃	奥 山 和 則
〃	加 藤 純 雄
〃	加 藤 知 子
〃	永 峯 ひろみ
〃	鈴 木 伸 康
〃	羽 入 崇 子
〃	佐 藤 喜 之
常 任 委 員	伊 藤 泰 夫 (会津大学事務局長)

〈平成25年度会津大学後援会予算〉 (単位:千円)

	科 目	予算額
収 入	会 費	12,450
	雑収入	10
	バス利用料	250
	繰越金	2,815
	収入計	15,525
支 出	会議費	150
	事務費	500
	事業費	13,800
	学生課外活動助成費	7,000
	厚生及び進路対策費	5,800
	研修等助成事業費	400
	スキルアップ推奨事業費	600
	記念事業積立金(次年度繰越)	0
	予備費	1,075
	支出計	15,525

〈会津大学後援会20周年記念事業〉 (単位:千円)

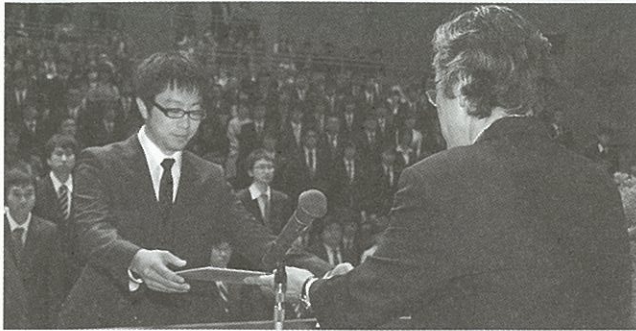
	科 目	決算額
収 入	記念事業積立金	3,000
	収入計	3,000
支 出	20 周年記念講演会	1,466
	20 周年記念パーティ	530
	20 周年記念品の寄贈	200
	20 周年記念事業事務費	180
	20 周年記念学園祭支援金	300
	予備費	324
	支出計	3,000

〈平成25年度会津大学後援会事業計画〉

月	日	主 な 事 業
通 年 4～3 月		クラス活動支援
		新入生クラスミーティング運営費補助 <新規>
		TOEICテスト支援(年会費)
		就職活動交通費補助
		就職活動宿泊費補助
		ボランティア活動費補助事業
4～7 月		朝食定期券補助
4 月 2 日		平成 25 年度後援会総会及び第 1 回後援会 役員会
4 月 4, 5 日		新入生宿泊オリエンテーション経費補助 支援
4 月 21 日		春期情報処理技術者試験送迎バス運行
8 月		後援会だより(第 30 号)発行
7 月		学生会への助成、学園祭実行委員会への 助成
10 月 12 日		第 2 回役員会 20 周年記念講演会、20 周年記念パーティ 20 周年記念品の寄贈
10 月		秋期情報処理技術者試験送迎バス運行
3 月		後援会だより(第 31 号)発行
3 月		第 3 回役員会
3 月 20 日		卒業記念パーティー

学内ニュース

平成24年度学位記授与式 ―知識基盤社会での貢献を―



3月22日（金）、会津大学は平成24年度学位記授与式を行いました。今年度の学位記授与者はコンピュータ理工学部、大学院コンピュータ理工学研究科において所定の課程を修了した280名と、論文博士の制度により学位を授与された1名。授与式では角山茂章学長が卒業生総代の岩渕康平さん、修了生総代の飯

《学生表彰者一覧》

学長賞	岩渕康平（学部）	電子通信学会東北支部表彰	塩沢京平（学部）
	飯塚 成（博士前期課程）	情報処理学会東北支部表彰	渡部真伍（学部）
優秀賞	伊藤悠哉（学部）	電気学会東北支部表彰	矢部拓馬（学部）
	常盤恭樹（学部）	公益財団法人会津地域教育・学術振興財団表彰	Vu Trong Bach（学部）
	笠間勇輝（博士前期課程）		相田真吾（博士前期課程）

塚成さん、そして博士の学位授与者にそれぞれ学位記を手渡し、「知識基盤社会で会津大学のモットー "to Advance Knowledge for Humanity" を実践できる人材として、未来での活躍を期待する」と式辞を述べました。来賓からの祝辞に続き、優秀な成績を収めた学生の表彰が行われました（下表参照）。答辞では、卒業生の伊藤悠哉さんが「会津大学での日々は人生の大きな財産となった。これを様々な問題に対処するための礎に、また、東日本大震災での被災から福島、そして、日本が前を向いていけるように尽力していきたい」と力強く語りました。

学位記授与式後の後援会が主催した卒業記念パーティでは、リラックスした雰囲気の中で、学生生活最後の思い出を楽しく語り合う様子が見られました。

平成25年度入学式 ―グローバル人材の基礎を築く学生生活を―

4月2日（火）、会津大学は平成25年度入学式を行いました。今年度の入学生はコンピュータ理工学部249名、大学院コンピュータ理工学研究科博士前期課程58名、同後期課程6名の合計313名。角山茂章学長は入学許可を宣言すると、「情報技術の最先端が学べ、国際的な感覚が培える環境にある会津大学で、グローバル人材として活躍する基礎を築き、世界に向

かって邁進することを願う」と式辞を述べました。

引き続き、来賓の福島県知事が入学生に歓迎と激励の言葉を贈り、学部代表の阿部華菜さん、大学院代表の小島陽介さんが「学生の本分を全うする」と宣誓しました。



各学年の成績優秀者を表彰



平成24年度において各学年の成績優秀に表彰状が贈られました。

表彰式は3月28日（木）に行われ、東原恒夫学生

部長が表彰状と記念品の図書カードを、成績優秀者にそれぞれ手渡しました。橋本雅人さん（当時1年生）は「これを励みに、授業だけでなく学外の活動にも力を入れて取り組んでいきたい」と話し、3年連続の表彰となる澤井秀仁さんは「勉強の成果が形になったことが嬉しい。これまで学んできた知識を活かし、4年

生ではソフトウェア工学の研究に励んでいきたい」と今後の抱負を語りました。（4年生は学長賞、優秀賞として学位記授与式において表彰されました。）

《平成24年度成績優秀者》

学年	氏 名		
1	渡部 智史	橋本 雅人	塩澤 隼人
2	石川 健太	北澤 拓也	四家妃夏利
3	澤井 秀仁	平野 雅古	谷 翔太

※学年は表彰当時の学年です

ARC-Space学生チーム開発「月旅行アプリ」に審査員特別賞！

4月20、21日、44ヶ国83都市を会場に行われた International Space Apps Challenge (ISAC ※) の東京大会で、会津大学から参加した CAIST/ARC-Space の学生を主体とするチームが審査員特別賞の「ASTRAX 賞」を受賞しました。

ARC-Space のメンバーは木下達生さん（博士前期課程2年）をリーダーに、チーム「Lunar Travel Agency（月の旅行代理店）」を立ち上げ、月面までの旅程や観光情報を提供するアプリを企画。NASA が開発した人工衛星の軌道設計ツールや JAXA の月周回衛星「かぐや」の画像データを活用して制作されたアプリは、到着地点と日付の入力で、地球から月への軌道表示や月面の目的地が3D映像で再現されます。リアルな情報が得られること、月旅行をイメージしやすいという点が受賞の決め手となりました。

● CAIST/ARC-Space 参加者

木下達生、林 佑樹、森 洋平、松浦隆裕、伊東里保、中島秀穂（大学院生）、藤末 藍（学部生）
平田 成、寺園淳也、北里宏平（引率教員）

※ISACは昨年から開催されている宇宙ハッカソンで、米国航空宇宙局（NASA）をはじめ日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）のオープンデータやAPIを使い、アプリの開発に取り組むイベントです。今年は、8,200名以上が参加した世界最大規模のハッカソンとなり、日本では東京大学駒場リサーチキャンパスに132名が集いました。

他のチームは社会人が率いる中、学生主体のチームが入賞するという快挙となり、審査員からは「宇宙旅行が現実になりつつあり、このアプリは今すぐにもビジネス化できる」との評価を得ました。



会津大学の海外派遣留学支援事業

<研修報告> 田茂井 圭祐さん（ローズハルマン工科大学）

私は、将来長期的な留学をしたいと考えていました。もしこの留学に参加できれば良い経験が積めると思い、今回の留学に臨みました。三週間という短い時間で異文化や英語を学ぶのは困難だと感じながらも、最大限の努力をしてみようと思いました。

この三週間は私の視野を大きく広げました。これまで日本の大学院に進学したいと考えていましたが、国内に限らず海外の大学院にも興味を持つようになりましたし、外から日本を見て、日本からも外の世界を見てみるべきだと思うようになりました。もし、また機会があれば留学に挑戦してみたいです。



田茂井さん（写真一番左）

<平成 24 年度派遣実績・25 年度派遣予定>

	研修期間	派遣学生（派遣時学年）
海外短期派遣	平成 25 年 3 月 3 日～3 月 23 日【3 週間】 （ローズハルマン工科大学：米国）	田茂井圭祐（学部1年）、関口有加里（学部1年） 北澤 拓也（学部2年）、松本 剛征（学部2年）、 石黒 駿介（学部2年）、金田 淳（学部3年）、 赤間 裕平（学部3年）
JASSO 奨学金	平成 24 年 8 月～平成 25 年 8 月【1 年間】 （ローズハルマン工科大学：米国）	須田 亮平（修士1年）
	平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月（予定） （ローズハルマン工科大学：米国）	長坂 卓（学部3年）

保 健 室

看護師 阿部さえ子 TEL0242-37-2517 mail : nurse@u-aizu.ac.jp

平成25年度健康診断結果 ～速報～

平成 25 年度の健康診断を受けたのは 942 名、受診率は 77.2% でした。平成 19 年度以降、健康診断の受診率は緩やかに低下し、平成 23 年度以降は 80% を下回っているのが現状です。

健康診断結果で医療機関受診指導の判定となったのは、学校医の診察 1 名（心雑音）、尿検査異常所見 14 名、血液検査を受けた（BMI 30 以上者対象、BMI：ボディマスインデックス 体重kg÷身長m²）23 名のうち 12 名です。

血液検査の異常は、空腹時血糖の高値、脂質異常、肝臓機能検査の高値など生活習慣病につながるようなものでした。

健康診断は疾病の早期発見だけでなく、自身の健康状態を確認する絶好な機会です。大学生は身体的に一生のうちで最も疾病にかかりにくい年代ですが、そのような年代であっても、若いから大丈夫と過信せず、健康診断を受けて客観的な指標と自覚症状の有無を確認し、健康状態を判断してほしいと思います。

クッキング教室開催 ～6月は食育月間～

6 月 29 日（土）に一箕町公民館でクッキング教室を開催しました。学生 6 名とボランティア参加の短期大学部生 5 名（食べ物の秘密知り隊：短期大学部非公認サークル）の計 11 名で、「朝ごはんをおいしく食べる会」の講師（保健師、管理栄養士）指導のもと、簡単炊き込みご飯、卵スープ、鶏肉の付け焼き、きんぴらごぼう、きゅうりの中華漬物に挑戦しました。料理を食べた後は、短期大学部生から朝ごはんの効用について説明を受けました。

受講生から後日、「自炊もいいなと思った」「自炊をはじめた」「材料の切り方などテクニックを教わることができた」「料理のバリエーションが増えた」「楽しかった」「また開催してほしい」などの声を聴きました。



| 修 | 学 | 支 | 援 | 室 | Office for Learning Support



修学支援室は、学生が自由に勉強できる場所として研究棟に設けられています。学生は、講義・演習だけでは理解できなかったことを、常時待機している修学支援員や、大学院生・学部生による TA・SA に質問することができます。その他にも、ワークステーションの使用や参考図書の閲覧など、様々な目的のために利用できます。来室者数は年々増大しており、今年度も多くの学生が勉学の場として修学支援室を利用しています。

来室のべ学生数

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計	平均
2011	12	777	767	492	420	86	272	273	196	226	51	16	3,588	300
2012	760	571	421	534	37	18	248	406	245	354	52	6	3,652	304
2013	757	787	490	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

数 学 補 講

修学支援室では、4 月から新入生向けに、数学の補講を行っています。特に高校時代に数学Ⅲ・Cを履修していないか、もしくは苦手としている学生を対象と

しています。参加学生は、事前に提示された問題を解き、講義の時間にその問題の解説を聞いて、微積分などの分野の理解を深めています。

修学支援室 電話：0242-37-2758 FAX：0242-37-2747 E-mail：ofls@u-aizu.ac.jp
URL：http://www.u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport.html

学生の活動紹介

学生会活動紹介

こんにちは、会津大学学生会長の高島洋介です。私達学生会執行部は、学生一人一人の大学生活を充実させるために、日々様々な活動を行なっています。この場をお借りして、学生会執行部の活動を紹介させていただきます。

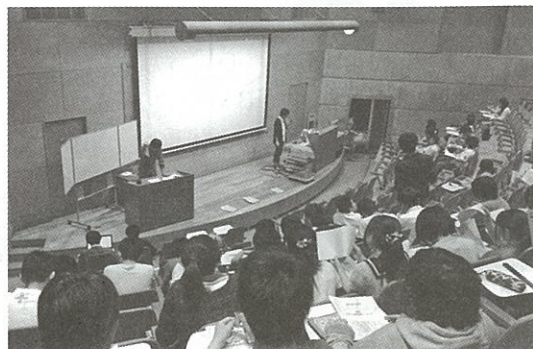
平成24年度活動

学生会総会運営

学生会執行部の仕事として、一番重要な活動が学生会総会の運営です。

学生会総会は定期的に行われる決算総会、予算総会と、必要に応じて開催される臨時総会とがあり、それぞれすべての開催告知から運営までを行なっています。

また、総会当日の運営だけではなく、前後に行われる意見交換会や予算編成委員会などの告知、運営も執行部の仕事となっています。

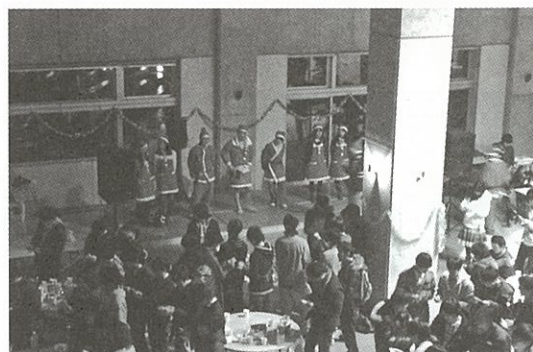


学生会総会

イベント運営

学生会執行部はまた、学内イベントの開催、運営も行なっています。昨年度は、クリスマスパーティー、新入生歓迎会の2つのイベントを開催しました。

クリスマスパーティーでは、各音楽サークルと共同で音楽祭を同時に開催し、音楽サークルの成果発表の場としても用いられました。また、新入生歓迎会は例年新入生を楽しませると同時に、各サークルの広報、勧誘の場として役立っています。



クリスマスパーティー

他大学訪問

会津大学は京都外語大学と交流協定を結んでおり、4年前に学生会長を中心としたチームで実際に訪問を行ったことがきっかけとなり、他大学訪問という活動が始まりました。

一昨年度からは協定を結んでいる大学だけでなく、より広く様々な大学と交流を持ちたいという考えから、国際教養大学、福島大学、筑波大学を訪問いたしました。

昨年は電気通信大学に訪問し、学生会及び学生会則そこで得た成果を学生会にフィードバックすることが出来ました。

今年度は県内大学との連携強化を目指し、主に福島大学に訪問、もしくは同大学からの訪問招致を行えるよう計画を立てています。



他大学訪問（電気通信大学）

平成25年度活動予定

9月～ 他大学訪問実施
10月 学園祭に企画出展
12月 クリスマスパーティー開催
平成26年4月 新入生歓迎会開催、決算総会開催

＜通年＞

- ・学生会則編成
- ・意見（目安）箱設置

学園祭実行委員会

こんにちは、会津大学学園祭実行委員会です。私たちは10月12日(土)、13日(日)に開催する蒼翔祭に向けて準備を行っています。今年度は総委員数が90人を超え、個性の溢れる楽しいメンバーに囲まれ、学園祭の準備がますます楽しみのなっています。

開学20周年に伴う学園祭ということで、今年度のテーマは**“感恩報謝 ～会津大学、20歳。成人式～”**としました。

開学から今まで、学生だけではなく、近隣住民の方にも支えられてここまでやってきました。そのため、今年度は「学園祭を通して感謝の気持ちを示し、支えてきていただいた皆さんにお返しをする」、「20周年という節目に新たな学園祭をつくる」という思いのもと、学園祭を盛り上げていこうと思っています。この思いに応えるため、委員は常日頃から学園祭をより良くしたいという考えを持って活動しています。

ここで、企画の一部を簡単に紹介します。

★企画紹介★

【ステージ企画】

- *ゲスト出演 *大声コンテスト *大抽選会
- *男装、女装コンテスト *早食い大会
- *サークル対抗○×クイズ

【多文化スペース】

- *伝統工芸体験 *B級グルメ *ケバブ
- *ケータリングカー *茶の湯熟

【その他】

- *子供広場 *ツリーイング *ゲーム大会
- *スタンプラリー *フリーマーケット
- *課外プロジェクト・サークル等の作品展示

この他にもまだまだ学園祭を楽しむ要素があります。

例年お馴染みの各サークルの模擬店と企画。今年は各サークルがどのような形で学園祭に参加してくれるのか、ということも見どころになっています。そしてこちらもお馴染み、同時開催されるオープンキャンパス。このことを通して会津大学をもっと知ることができます。これらに加えて、南会津町の中小屋集落の出店、留学生による模擬店など、20周年を記念にさらなる企画も行う予定です。これまでとは一風変わった学園祭で、来場者の皆様を楽しませよう最大限の努力を致します。

**20周年という
記念すべき節目に
行われる学園祭、
ぜひご来場下さい！**



ステージ企画



多文化スペース



委員一同、皆様のご来場をお待ちしております!!

会津大学は開学20周年を迎えました

会津大学は平成 5 年に日本初のコンピュータ理工学専門の大学として誕生し、今年 4 月で開学 20 周年を迎えることができました。開学から一つの節目の年に際して、本学のさらなる飛躍に向けて、福島県の復興はもとより、日本ひいては世界の発展にどのように貢献できるかを内外に示す絶好の機会と捉え、さまざまな記念事業が実施されます。

後援会としましては大学及び同窓会と一体となって、開学 20 周年記念事業を盛り立てていきたいと考えており、以下の 2 つの催物を実施いたします。会員各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

後援会・同窓会共催20周年記念講演会

■日 時：平成25年10月12日（土） 13：00～15：15

■場 所：会津大学 講堂

【第 1 部】記念講演会（時間：13：00～14：00）

会津大学が開学以来めざしてきた、応用性が広く将来性が高いコンピュータ技術を社会の発展に寄与するという目的を実現するため、これからの科学技術と社会発展との結びつきをテーマとした講演を予定しています。（講師については現在調整中です）

【第 2 部】同窓生によるパネルディスカッション（時間：14：15～15：15）

会津大学では第 1 期生が卒業してから数十年が経過し、多くのコンピュータスペシャリストを輩出し、社会では高い評価を得ています。そこで 20 周年を記念し、社会で実際にコンピュータ技術を駆使し活躍している同窓生の声を在学学生に伝える機会を設け、会津大学で学んだ後、将来どのような場所でどのように活躍できるのかをイメージして勉学に励めるよう将来設計の一助となるようなパネルディスカッションを予定しています。

後援会・同窓会共催20周年記念パーティー／20周年記念品の寄贈式

例年、後援会で開催しているパーティーの規模を拡大し、今年度は後援会、同窓会、大学関係者などより多くの方々に参加していただきます。このパーティーの中で、学生の教育環境をより充実させるための記念品の贈呈式を行います。

■日 時：平成25年10月12日（土） 15：30～17：00

■場 所：会津大学 食堂 ■参加費：無料

※10月12日・13日（土・日）は大学祭開催中です。

※例年、大学祭開催中に実施していた「会津大学報告会・就職講演会・就学相談会」は上記事業のため、今年度は実施しませんのでご了承ください。

会津大学開学20周年記念ロゴマーク決定

20 周年を印象づけるロゴマークを付したポスターなどで記念事業の広報活動を展開するため、学部生、大学院生、短期大学部生からロゴマークのデザインを募集したところ、62 名から 74 作品の応募がありました。審査の結果、短期大学部産業情報学科 1 年の加藤

可菜さんのデザインが最優秀賞に選ばれ、20 周年記念ロゴマークに決定しました。

6 月 7 日表彰式が行われ、加藤さんには、記念事業実行委員会の角山茂章委員長（会津大学理事長）から、表彰状と副賞の図書カードが授与されました。

